

# 南湖湖底耕耘区における水草採集調査

井戸本 純一

## ◆背景・目的

現在、草津市地先の南湖で行われている湖底耕耘事業が当該水域で問題となっている水草の異常繁茂におよぼす効果を明らかにするため、耕耘区内外に定点を設けて水草の採集調査を実施した。

## ◆成果の内容・特徴

- 水草の採集には長さ10cmのスプリングを25cm間隔で8本取り付けた長さ2mのチェーンを用い、ロープを結んだチェーンを船上から3方向に投げ入れてゆっくり引き上げることによってある程度定量性のある採集を行った。
- 採集量は耕耘頻度や水深と反比例する傾向がみられたが、種組成には季節変化以上の目立った変化は認められなかった。

## ◆成果の活用・留意点

- 潜水調査やGPS魚探調査との連携を深めることによって、相互の調査精度をさらに向上させることができる。



図1 調査に用いたスプリングチェーン(上)と水草の採集状況(下)。

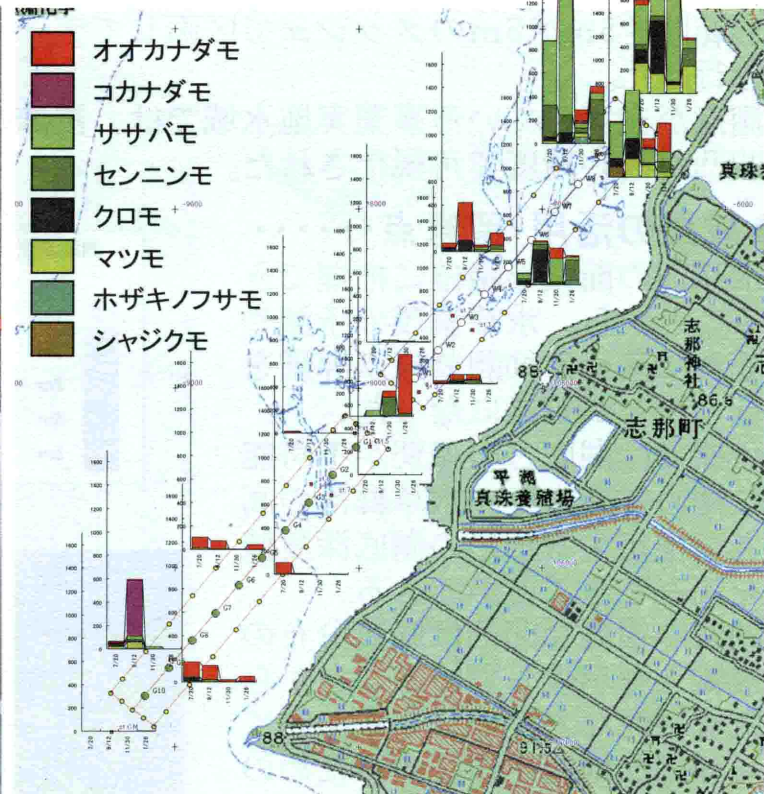


図2 調査定点における水草採集量と種組成の変化. 各グラフの横軸は左から7月, 9月, 11月, 1月の結果, 縦軸は湿潤重量(最大1700g)。

\* 本報告は水産庁による平成18年度湖沼の漁場改善技術開発委託事業の成果の一部である。